

議員提出議案第18号

出産・子育て応援事業の継続を求める意見書

上記の議案を提出します。

令和元年10月16日

中野区議会議長 高橋 かずちか 殿

提出者 中野区議会議員

伊藤 正信

木村 広一

白井 ひでふみ

大内 しんご

森 たかゆき

酒井 たくや

長沢 和彦

## 出産・子育て応援事業の継続を求める意見書

東京都は、全ての子育て家庭に対して妊娠期から行政の専門職が関わることにより、出産・子育てに関する不安を軽減するとともに、各家庭のニーズに応じた支援を妊娠期から子育て期にわたって切れ目なく行い、妊婦・乳幼児・保護者の心身の健康の保持・増進を図ることを目的に、出産子育て応援事業「ゆりかご・とうきょう事業」を実施している。

実施主体は、区市町村であり、自治体は「ゆりかご・とうきょう事業」を活用し、「妊娠期からの切れ目のない支援」に取り組んでいる。中野区においても平成27年10月より、「妊娠・出産・子育てトータルケア事業」がスタートし、妊産婦に対する専門職の面接、産後ケア事業などが実施され、切れ目のない支援が進められている。

「ゆりかご・とうきょう事業」は、平成27年から平成31年度までの5年間の時限的な事業であり、今年度限りで終了することになっている。

妊娠・出産・子育てを家庭のみに任せるのではなく、生活している地域で様々な関係機関や人が支援し、孤立を防ぐことが重要であり、支援を進めるうえで「ゆりかご・とうきょう事業」は非常に効果的な事業である。

よって、中野区議会は東京都に対し、今後も区市町村における「妊娠期からの切れ目のない支援」を継続するために、「ゆりかご・とうきょう事業」の継続を強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

年 月 日

東京都知事 あて

中野区議会議長名